

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹 秋 市議会 だより

itami November.30, 2022 vol. 245



CONTENTS

vol.245の主な内容

P.2~5... 代表質問

P.5 個人質問

P.6~7... 議案審査

P.7 議決結果

P.8 人事

市議会からのお知らせ
委員会の視察・要望報告
会議の予定



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。

(通信費は利用者負担になります。)

議場(市役所新庁舎)

代表質問

令和4年第4回定例会(9月5日～10月17日)では、各会派を代表して6人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 **検索** 

市議会ホームページから
3つの方法でご覧いただけます。

①会議録検索システム(12月上旬に掲載予定)
②本会議中継・録画配信
③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

会派別議員一覧 伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。(11月15日現在)

●新政会 代表 戸田 龍起 (議長) 加藤 光博 高塚 伴子 杉 一 土井 秀勝 花田康次郎	●公明党 代表 竹村 和人 北原 速男 山本 恭子 (副議長) 篠原 光宏 里見 孝枝 永松 敏彦	●フォーラム伊丹 代表 保田 憲司 (監査委員) 山藺 有理 大津留 求 岸田真佐人 高橋 有子	●創政会 代表 川井田清香 新内竜一郎 佐藤 良憲 鈴木久美子
●日本共産党 伊丹市議会議員団 代表 上原 秀樹 久村真知子	●伊丹維新・無所属の会 代表 齊藤 真治 佐竹 璃保	○会派に属さない議員 小西 彦治	

新政会 

土井 秀勝 議員 

マイナンバーカード ～市民の不安払拭に向けた取組～

問 マイナンバーカードの作成時や作成後に、個人情報漏えい等の不安を持たれる方々の不安を取り除くための取組を伺う。

答 カード作成時において、マイナンバーを他人に知られただけ

で、それをきっかけに他の個人情報を調べることはできないこと、カード本体に税や年金、口座情報等のプライバシー性の高い情報は保存されないこと、カードを紛失した場合は一時停止などの緊急措置があることなどを説明している。また、オンライン手続は、マイナンバーを使った情報連携ではなくICチップに搭載された電子証明書を利用するため、マイナンバーがインターネ

ット上で漏えいする心配はないことや、利用には暗証番号が必要なため第三者が悪用できない仕組みであることを説明している。加えて、カード作成で、自動的に個人情報が行政機関等に知られるものではないことを説明することで不安解消につなげるよう努めている。



マイナンバーカード交付の様子

選択させるなど、主体的に学ぶ力を育成するという視点も忘れてはならない。ICTは未来を生き抜く子どもたちに必要不可欠なツールであり、本市では、「紙かタブレットか」「アナログかデジタルか」ではなく、「アナログもデジタルも」バランスよく組み合わせることを基本とした上で、ICTの効果的な活用方法を研究し、実践の共有を進めていく。

今後のICT教育の展望

問 ICT教育という時代の潮流にある今こそ、デジタル化のよしあしを見極めて状況に応じた学習方法を探っていくことが求められている。これからの本市のICT教育の展望について伺う。

答 1人1台のタブレットが整備された今こそ、ICTを有効活用して、これまでの授業形態を見直し、一人ひとりの特性に合わせた学びの実現を目指す大きな転換期と言える。重要なことは、紙とタブレットのそれぞれよさを指導者が理解、意識した上で授業を行うことである。場面によっては、子どもたちに紙かタブレットかを

公明党 

竹村 和人 議員 

令和3年度市政全般の評価 ～コロナ禍を踏まえて～

問 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策や、給付金の支給、個人消費喚起による市内経済の活性化などの事業に取り組まれた。また、

第6次総合計画の1年目として、ICT教育環境の整備や、様々な社会基盤の整備を進められた。令和3年度市政運営の総括について市長に伺う。

答 新型コロナウイルス感染症対策として、市民の命と暮らしを守ることを

人生100年時代を見据えた健康づくり

問 ①特定健診やがん検診などの受診率と健康意識の向上への対策が不可欠と考えるが、いたみ総合保健センターを生かした健康づくり政策の進め方は。②成人してからの歯科健診を定着させる取組が重要と考えるが、国民皆歯科健診への見解と、歯と口腔の健康づくり施策の進め方を伺う。

答 ①検診バスを同時に複数台配置できるスペースを設けることで、特定健診や、複数のがん検診をセットで受診が可能となる。積極的に周知を図り受診率の向上につなげたい。また、医師会や歯科医師会の事務局も同センターに入るため、これまで以上に緊密な連携を図り、より幅広い健康づくり施策の充実に努める。②国民皆歯科健診の詳細な事業内容は、まだ示されていないが、市民の健康づくりにおける歯と口腔の健康づくりの重要性は

最優先に、ワクチン接種や自宅療養者への物資支援、支援金給付、プレミアム付き商品券の発行など、時期を逸することなく補正予算を編成し取り組んだ。また、第6次総合計画では、デジタル改革として、AIやRPAの活用による行政事務の効率化やデジタル技術の活用による行財政改革を進めたほか、行政手続のオンライン化、キャッシュレス決済の導入に取り組んだ。今後も感染症対策を優先しながら、持続可能なまちづくりに向け、全力で取り組んでいく。

十分認識しており、市民総合歯科健診をはじめ、歯科保健相談事業等、各種啓発事業を実施している。今後も国の動向を注視しながら取り組んでいく。



いたみ総合保健センター

フォーラム伊丹 

保田 憲司 議員 

不登校の児童生徒への対応 ～不登校対策支援員の配置～

問 全小・中学校に不登校対策支援員が配置されてから1年が経過したが、①事業の成果や課題をどのように捉えているのか。②教職員や保護者など、学校現場からはどのような声が上がっているのか。③来年度以降

の事業継続に対する見解を伺う。

答 ①不登校対策支援員は、小・中学校とともに別室での個別対応による支援を中心に行っており、中でも不登校児童生徒に対する個別支援による心のケアによって登校につながる事例も多く、大きな成果であると言える。一方、教員免許を有している人材の安

定的な確保が課題である。②多くの小・中学校から、支援員の個別支援により、児童生徒が登校できたり、在校時間が増えたりしたとの報告を受けている。③今後のさまざまな状況を勘案して考えていく。



学習ブース(南中学校)

選挙の事務体制 ～民間活用の効果検証～

問 本年7月10日執行の参議院議員選挙では、当日投票所の選挙事務の一部において、民間派遣会社と業務委託契約を結び実施されたが、選挙における個人情報の保護及び投票の秘密保持の観点から、少なくとも選挙人名簿を確認する名簿対照係の業務は

市職員を充当すべきではなかったのか見解を伺う。

答 民間派遣会社と委託契約を締結する際には、個人情報の保護、秘密の保持等に係る条項を契約書面に掲げている。また、個人情報等に関する具体的な取扱方法及びその対応方法等についても民間派遣会社と十分協議をしている。加えて、民間派遣会社側も、

当該派遣登録社員との間で個人情報の保護、秘密の保持等に係る誓約書を徴取し、個人情報漏えいの問題については細心の注意をはらっている。

一方で、投票に来られた選挙人に対して円滑な対応ができなかったりするなど、一定の課題もあることから、選挙人名簿を確認する名簿対照係の業務については、市職員に従事させる方法も含め、十分に検証し、検討する。

創政会



川井田 清香 議員



個人情報における情報セキュリティ対策

問 本年6月に近隣市で発生した個人情報を含むUSBメモリの紛失事案が大きな話題となり、危機管理の甘さや管理体制に議論が広がった。本市の個人情報データの取扱い等の情

報セキュリティ対策を伺う。

答 インターネットから個人情報

就学前施設における安全管理の徹底

問 本市の保育所や幼稚園、認定こども園等における保育中の事故防止の安全管理について見解を伺う。

月8日教育長通知「保育施設等における通園バスに係る安全管理の留意事項」を

答 本年9月5日に他県の認定こども園で、送迎用バスに園児が取り残され亡くなるという痛ましい事故が発生したことを受け、本市では、同

う運用している。そのほかシステムの利用においても、生体認証を組み合わせたアクセスの管理や、アクセス記録を保存し定期的に点検することで、個人情報を容易に持ち出すことのできない対策を実施している。また、システムの保守業務においては、作業が完了するまで職員が立ち会い、プログラムや設定情報などを外部記憶媒体に保存し、持ち帰る際には個人情報が不用意に持ち出されることのないようデータ確認を実施するなど、個人情報の流出を徹底して防ぐ対策を様々な実施している。

4つの項目ごとにそれぞれチェックリストを設け、各施設において職員間でも共有し、実施できるようにしている。



登降園ミマモルメ受信器(さくらだいこども園)

伊丹維新・無所属の会



佐竹 璃保 議員



今後の財政運営・行財政改革に係る展望

問 令和3年度決算を踏まえ、社会情勢の変化に伴う今後の財政運営・行財政改革の展望について伺う。

答 令和3年度は、新型コロナワクチン接種や感染症対策をはじめ、様々な市民生活支援や地域経済対策に取り組んだほか、新庁舎建設工事を進めるとともに、市立伊丹病院と公立学校共済組合近畿中央病院の統合再

第7波コロナ禍での感染者への施策の現状と今後

問 コロナ対策において、現時点での県との連携、市独自で行っている施策の現状と今後の対応について伺う。

受付を開始した。配付終了時期については、利用者数の推移や市内発熱外来の状況等を鑑みながら検討中であるが、県が本年10月末まで継続する予定であり、引き続き市ホームページ等において市民に周知を行う。また、市が実施している自宅療養期間中の物資支援事業は、療養期間10日間のうち、県が実施する5日間を除く残りの5日分の支援を行うもので、令和3年9月に事業開始し、本年8月末時点で5,245名に支援を行った。

なお、本年9月7日より、症状ありの

編に係る実施設計を行うなど、未来に向けた社会基盤の整備にも取り組んだ。結果、一般会計決算では44年連続黒字を確保し、行財政プランに基づく財政指標の目標については概ね達成できた。今後も社会情勢の変化に合わせ、本市を取り巻く財政需要の変化が予想されるが、引き続き国の政策動向を注視しながら機動的に対応するとともに、財源確保に努め、確実に事業を進めていくことが重要であると考えている。

陽性者の療養期間が10日間から7日間に短縮されたことや、陽性者の全数把握の見直しが進められていることから、今後は県による物資支援体制も見極めながら事業の在り方を検討していく。



厚生労働省承認 抗原検査キット

日本共産党伊丹市議会議員団



上原 秀樹 議員



校則の見直し ~校則に子どもの権利条約を~

問 本年9月以降に生徒指導提要の改訂版の公表が予定されており、その中で、校則の見直しが言及されている。以前、校則の見直しに生徒が主体的に参画すること等で、子どもの権利条約の「意見を表す権利」が守られて

いるとの答弁があった。新たな生徒指導提要で校則に関して指摘されている項目を参考に見直す点はあると考えるが、見解を伺う。

答 生徒指導提要の改訂案にも、校則について「制定の際は少数派の意見の尊重」「守らせることばかりにこだわらない」「絶えず見直す」「子ども

もや保護者の意見聴取」など、本市が大切にしていることが示されている。今後、改訂された生徒指導提要を周知する際、各学校において改めて校則の在り方について確認するとともに、必要に応じて見直しを行っていく。



生徒指導提要(平成22年3月作成)

自衛隊への自衛官募集対象者情報の提供

問 本市では、自衛隊に対して募集対象者情報の提供を行っている。市個人情報保護条例第35条には、「利用停止請求権」が規定されていることから、これに基づき、自衛隊への募集対象者情報の提供を希望しない方が申し出ることができる「除外申し出制度」

を作るべきと考えるが、見解を伺う。

答 市個人情報保護条例第35条第1項第2号には、第14条第1項及び第2項又は同条の4の規定に違反して提供されているときは、当該個人情報の提供停止措置を請求することができる旨が規定されている。

しかしながら本市では、法定受託事務として位置づけられている事務であ

ること、また、自衛隊法施行令第120条に基づき、防衛大臣が自衛官・自衛官候補生の募集業務に必要な資料提出を求めることができる旨の規定に対応する事務として実施していることから、自衛隊への情報提供は適法に提供しているものであるため、第35条の規定には該当するものではない。現時点においては、「除外申し出制度」を作ることは考えていない。

個人質問

代表質問のほか、15人の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問の項目のみを紹介し、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



新政会
高塚 伴子 議員
●子どもたちの夏の居場所●伊丹シティホテル●市内中小企業への人材採用支援
杉 一 議員
●災害対応●経済状況●リサイクルプラザでの発火事案防止のための対応策
戸田 龍起 議員
●スポーツセンター陸上競技場の公認●投票環境
花田康次郎 議員
●新庁舎において市職員労働組合に貸し出す予定のスペース●ゴミステーションのクラス対策●安倍元総理の国葬儀

フォーラム伊丹
山岡 有理 議員
●市民の安全・安心を目指して
大津留 求 議員
●臨時特別給付金事業における業務委託の現状●大型開発と、住民参加のまちづくり
岸田真佐人 議員
●スクールサポートスタッフの継続配置を●信号を歩車分離式に●体育館にエアコンを
高橋 有子 議員
●投票事務が1日だけの短期バイトでいいのか●モーターポート競走事業会計からの繰入金金の使途●多頭飼育崩壊の対策●就学前施設および学校でのインクルーシブ教育

日本共産党伊丹市議会議員団
久村真知子 議員
●権利としての生活保護申請手続き●バス路線の新設●性感染症が特に若い女性などに広がっている、防止の為に手立て

伊丹維新・無所属の会
齊藤 真治 議員
●市交通局の経営と第4次アクションプラン●商業活性化●ゴミ屋敷問題と多頭飼育問題

公明党
北原 速男 議員
●市営住宅の取り組み●危機管理対応●伊丹シティホテル
里見 孝枝 議員
●妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援●投票率向上に向けた取組
永松 敏彦 議員
●ごみ減量に向けた食品ロスへの取り組み●いわゆるマルチ商法を含む投資勧誘トラブルの実情とその対応

創政会
新内竜一郎 議員
●新型コロナウイルス感染症の対応策●「太陽光パネル・蓄電池」の共同購入
鈴木久美子 議員
●都市計画道路山田伊丹線昆陽泉町工区●新型コロナ自宅療養者物資支援事業



議案審査

令和4年第4回定例会では、**議案は46件**でした。
 ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された4つの委員会の内容をご紹介します。
 なお、議案名の横に **A** とあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

総務政策常任委員会

○令和4年度 一般会計補正予算(第6号)

23億3,224万3千円を追加補正

コロナ禍における物価高騰対策を実施するとともに、安全・安心見守りネットワークのさらなる充実が図られます。

- ・物価高騰対策
物価高騰により、利用者が事業所に支払う食材費等の価格上昇を抑えることで、安心して介護サービスを受けられる環境を維持するため、食事提供を行う介護サービス事業所が支援されます。
- ・さらなる安全・安心
全1,200台の見守りカメラからなる安全・安心見守りネットワークについて、令和7年度末の完了を目指し、カメラ性能の向上に伴う画像の鮮明化等、機能充実を図る更新事業に着手されます。
- ・地球温暖化対策の推進
公用車4台の電気自動車への更新や西消防署池尻出張所照明設備のLED化工事・空調改修等の実施により、温室効果ガスが年間約8t削減されます。

- その他の議案**
- 一般職員勤務分限条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正
 - 職員退職手当支給条例の一部改正
 - 物品の取得
 - 令和4年度 一般会計補正予算(第7号)

文教福祉常任委員会

- 令和4年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和4年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 令和4年度 介護保険事業特別会計補正予算
- サンシティホール条例の一部改正
- 物品の取得(3件)

都市企業常任委員会

- 令和4年度 病院事業会計補正予算
- 手数料条例の一部改正
- 市道路線の認定
- 令和3年度 水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和3年度 工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和3年度 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和3年度 モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分

決算審査特別委員会

○令和3年度 一般会計歳入歳出決算 **A**

一般会計決算規模は 歳入約976億円、歳出約955億円

令和3年度一般会計歳入決算額は976億1,651万円で、前年度比81億9,776万円減(7.7%減)となっています。市税は株式等譲渡所得の平年度化等により個人市民税が減となったものの、徴収猶予の特例の終了や家屋の新增築等による固定資産税及び都市計画税の増、法人事務所規模拡大等による法人市民税の増、税率引上げによる市たばこ税の増等により約0.4億円増加しました。国庫支出金は子育て世帯臨時特別給付金事業費補助、非課税世帯等臨時特別給付金事業費補助、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の増等の一方、特別定額給付金事業費補助、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減等により約143.3億円減少しています。

また、一般会計歳出決算額は955億4,374万円で、前年度比約85億4,529万円減(8.2%減)となっています。扶助費は新型コロナウイルス感染症対策として実施した子育て世帯臨時特別給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金、子育て世帯生活支援特別給付金、利用者数の増等による保育所保育委託料の増等により約53.3億円増加し過去最高額を更新しています。補助費等は売上が減少した個人事業主及び小規模企業者等に支給した事業者支援金、新型コロナ感染症拡大防止協力金の増の一方で、特別定額給付金、交通事業会計への補助、病院事業会計への補助の減等により約208億円減少しています。

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。
 3つの常任委員会と
分科会方式を導入した決算審査特別委員会
 で審査が行われたんだ。



総務政策分科会 (9月28日・29日)

構成員
 保田座長 上原副座長
 新内分科員 高塚分科員
 杉分科員 岸田分科員
 永松分科員 鈴木分科員
 佐竹分科員

文教福祉分科会 (9月30日・10月3日)

構成員
 川井田座長 高橋副座長
 久村分科員 山本分科員
 戸田分科員 佐藤分科員
 里見分科員 土井分科員

都市企業分科会 (10月4日・5日)

構成員
 竹村座長 齊藤副座長
 吉井分科員 北原分科員
 大津留分科員 小西分科員
 花田分科員

- その他の議案**
- 令和3年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
 - 令和3年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
 - 令和3年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算
 - 令和3年度 鴻池財産区特別会計歳入歳出決算
 - 令和3年度 荒牧財産区特別会計歳入歳出決算
 - 令和3年度 新田中野財産区特別会計歳入歳出決算
 - 令和3年度 病院事業会計決算
 - 令和3年度 水道事業会計決算
 - 令和3年度 工業用水道事業会計決算
 - 令和3年度 下水道事業会計決算
 - 令和3年度 交通事業会計決算
 - 令和3年度 モーターボート競走事業会計決算

委員会付託なし

- ひかり保育園大規模改修(第2期)工事の請負契約
- 市営玉田団地6・9号館エレベーター設置工事の請負契約の一部変更契約
- 公平委員会委員の選任
- 議員の辞職を許可することについて
- 新田中野財産区管理委員の選任(7件)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 市道路線の認定

議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。
 第4回定例会の**議案46件**全てが**可決・認定・承認**されました。



議案 32件
報告 14件

賛否の分かれた議案

A 令和3年度 一般会計歳入歳出決算

会派名	議員名	A
新政会		認定
	加藤 光博 (議長)	—
	高塚 伴子	○
	杉 一	○
	戸田 龍起	○
	土井 秀勝	○
	花田康次郎	○

公明党		
	北原 速男	○
	山本 恭子	○
	篠原 光宏 (副議長)	○
	竹村 和人	○
	里見 孝枝	○
	永松 敏彦	○

フォーラム伊丹		
	保田 憲司	○
	山蘭 有理 (監査委員)	○
	大津留 求	○
	岸田真佐人	○
	高橋 有子	○

創政会		
	新内竜一郎	○
	佐藤 良憲	○
	川井田清香	○
	鈴木久美子	×

日本共産党伊丹市議会議員団		
	上原 秀樹	×
	久村真知子	×

伊丹維新・無所属の会		
	齊藤 真治	○
	佐竹 璃保	○

会派に属さない議員		
	小西 彦治	○

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

委員会の
視察・要望報告



飛行場問題対策特別委員会



齊藤国土交通大臣(左から3人目)
(10/18)国土交通省(要望運動)
「大阪国際空港に係る諸対策」

都市企業常任委員会



ボートレース尼崎
(10/28)兵庫県 尼崎市内
「事業及び施設概要」

※詳細はホームページでご覧いただけます。

人事

9月定例会において、次の方々が
決定されました。(敬称略)

- ▽公平委員会委員 石崎 和美
- ▽新田中野財産区管理委員 中西 良博 朝山 保男
- 滝内 秀昭 久保 裕視
- 井上 昇一 湯山 義和
- 勝山 明彦
- ▽固定資産評価審査委員会委員 川上 寛

市議会からのお知らせ

議会運営委員会からの答申

昨年6月、加藤議長より、戸田議会運営委員会委員長に
諮問された事項について、本年10月31日、答申がなされ
ました。

この答申を受け、各種委員会のインターネット中継に
ついては実施に向けて取組むこととなりました。



答申の様子

市立伊丹高等学校 議会見学会

9月16日に、市立伊丹高等学校の
生徒会執行部9名の生徒が、本会議
を傍聴し、本会議
終了後、議場の見
学を行いました。



記念撮影

議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人(法人、その他の団体を含む。)に
対して、祭りなどへの寸志・差し入れ・お祝いなどの寄附
や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(答礼の
ための自筆によるものを除く。)を出すことが、公職選挙
法により禁止されています。また、議員に対する寄附の
勧誘や要求も禁止されています。公正な政治活動をして
いくために、ご理解とご協力をお願いいたします。

議員の辞職について

安藤なの香議員は令和4年8月8日付けで、吉井健二議
員は令和4年10月17日付けで、それぞれ辞職されました。

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
			議会運営委員会		第5回定例会 本会議招集日 議員総会	
4	5	6	7	8	9	10
			本会議第2日 一般質問	本会議第3日 一般質問	本会議第4日 一般質問	
11	12	13	14	15	16	17
	議会運営委員会 本会議第5日 一般質問 議案質疑		総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会	
18	19	20	21	22	23	24
				議会運営委員会 本会議最終日 議員総会		

江戸時代の寛文元年(1661年)から明
治維新まで、伊丹市の前身、伊丹町のほ
ぼ全域を領有していた近衛家(京都の公
家で五摂家筆頭)の家紋のひとつである
合印紋。伊丹市が市制を施行した後の昭
和18年(1943年)、特に近衛家の許しを
得て市章に制定しました。



市章

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」
の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供して
います。希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイセン
ター)へお申し込みください。☎072-772-0221 ☎072-780-2897

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行:伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所議会棟3階)
☎072-780-4090 ☎072-784-8092 ☎http://www.city.itami.lg.jp/
伊丹市議会だよりは86,100部作成し、印刷費は1部あたり7.15円です。